

在校生・卒業生・保護者・教職員

進路通信 2016/08 前期

北海道釧路湖陵高等学校進路指導部

◆特集 統一学校説明会 ～14年目・自ら伝統を引き継ぐ～◆

今年も進路指導の一大イベントが近づいてきました。今年で14年目を迎える統一学校説明会です。この統一学校説明会の第1回目を企画された先生、当時の進路指導部長の先生と先日お話をする機会がありました。昔をなつかしく思い出されていました。その先生がどうしてこの統一学校説明会をはじめたのかというと「釧路という地理的な条件によって、オープンキャンパス等に行けない生徒も多く、それを何とかしたい。さらに、進路の考え方が狭い生徒が多いので、もっと視野を広げて欲しい。そうしないと志も持てない。」このような思いからなのです。

この精神がこの説明会の根幹なのですから、そこをきちんと理解してほしいと思います。「自分が志望している学校のブースはないから、あまり当日まわるところがない。」「国公立大しかダメと言われてるので私大のブースには興味がない。」こんなことを言っている人はいませんか？この発想がそもそも「狭い」のです。自分の志望している大学がなくても、自分の志望している分野を学科にもつ大学はあります。そこから、情報を得ることは可能です。例えば法律を学んで司法試験に挑戦したいと思っている人は、「中央大学」の法律学科の話を聞いてみるなど、すべきことはいろいろあります。また、「私大はダメと言われてる」人も、自分の志望している学問分野のことを尋ねたり、国公立大との違いを直接聞いたり、費用のことや奨学金のことを尋ねるのもいいですね。

つまり、自分の「思いを実現させるために、行動する場」なのです。第1回から連続して参加して下さっている大学もあります。今、湖陵にいる教職員・生徒だけの力で成り立っている行事ではないのです。過去の教職員・湖陵卒業生などの力があってこそ、お客様も気持ちよく連続して参加して下さるのです。

何も調べず、とにかく「進路を決めなければ」と焦る人がいますが、焦るだけでは進路は決まりません。進路希望を決めることに関しては、人それぞれ歩幅が違うように感じます。1歩あたりが大きい人は、早く自分の進路を決められますが、1歩あたりが小さい人は、同じ歩数を歩いても、進路希望決定には至りません。同じ歩数（同じ日数）を過ごしているにも関わらず、進路希望がはっきりしている人と、まったく決められない人がいるのは、そのためです。私は決して、早く決めたから良いとは思いません。他の人より、悩む時間が必要な場合があります。しかし、誤解しないで下さい。決まってなくてもいいんだ、と思い、考えたり、調べたりしないようでは困ります。進路希望が明確でない人は、担任の先生との面談で、自分が悩んできたプロセス、調べてきたプロセスが語れるのでしょうか。進路希望が決まっていない人は、決まっていないという事実と同時に、プロセスを担任の先生に伝え、ぶつけてみるべきです。決まったふりをする必要はないということです。

進路希望が決まっていない人にとって、この「統一学校説明会」という行事は、大きな刺激になることでしょう。大学の担当者の方に、自分の疑問をぶつけてみましょう。

反面、意外と私が心配なのは、「進路希望が固まっている人」です。この大学に行きたいから、国公立大学しか行かない（行けない）から、などの理由で、一部のブースを回るだけで満足してしまう人がいます。もったいないことです。志望を変えろと言っているのではありません。まず、自分が志した学問分野について、もう少し深く掘り下げてほしいのです。例

えば、北大の工学部を志望している生徒は、北大・筑波大・岩手大・弘前大あたりのブースは、何も言わなくても回ると思いますが、残念ながら、室蘭工大・北見工大を回らない人もいます。そこで、そういう生徒に室蘭工大・北見工大のことを尋ねてみると、2つの大学の「い・ろ・は」の「い」もわかっていないのです。そんな調べた方で、良い研究が将来できるのか、気がかりです。北大の工学部を目指すのは、悪いことではありません。しかし、成績が順調に伸びなかった時のことや、センター試験で失敗した時のことや、後期日程のことまで考え行動すべきです。また、自分の知らなかった大学の魅力に触れる絶好の機会でもあります。未知のものに触れようとする意欲と、広い視野を持つべきです。

また、私大進学は保護者からダメと言われてるので、国公立大学のブースのみを回るという生徒もいます。私大のブースも回り、国公立大との違いを確認したり、学問内容を深く掘り下げて調べてほしいものです。先ほど例に出した、北大工学部志望者は、私大の工学部の話も聞くべきです。私大で取り組んでいることも知ってみるべきです。国公立大学専願者も、私大ブースを回ることを強く勧めます。国公立大学を進学希望の先輩で、私大の話も聞き、逆に国公立大との違いが聞きたくなり、もう一度国公立大学のブースにいき、「こういう取り組みは、私大ではあるようなのですが、貴学ではありますか」のように質問し直した人もいました。そういうことをすることによって、第1志望の大学のさらなる魅力を発見したそうです。

いずれにしても、受け身の姿勢では自分にとって有益な情報は集まりません。能動的に行動することによって始めて、有益な情報に接することができるのです。

夏休み前の進路通信でも確認しましたが、説明会を一週間後に控え、統一学校説明会に関して、改めてポイントを確認しましょう。

Point1 お客様には、最大限の礼儀を尽くすこと。 質問内容を事前に準備しておくこと。

在校生には、お客様には最大限の礼儀を尽くすことを求めます。「礼儀を尽くす」とは、単に挨拶をするなどというレベルのことだけではありません。その学校について下調べをしたりなども含めます。身だしなみや言葉遣いについては、いうまでもありません。

当日だけではなく事前の準備段階での下調べも含めて、積極的に行動し、得るものの多い説明会にしていきましょう。それが、湖陵生のよき伝統を引き継ぐ力になるのです。

Point2 初対面の大人と、積極的にコミュニケーションを図る。

では、説明会当日のポイントは、何でしょうか。それは、**主体的に行動すること**です。当日は、70以上のブースが並びます。予備校のブースを入れると、それ以上になります。100名を超える大学関係者が第1体育館に集います。普段、みなさんの周りにはいる大人は、担任や教科担任、部活動の顧問の先生たちです。でも、説明会では、初対面の大人がたくさんいます。人見知りをする人や、話をすることが苦手な人は、ちょっと質問することは気が重いのと思います。でも、当日は、ちょっと勇気を出して積極的に行動してみてください。友達と一緒に質問できるかも知れません。これは、経験の積み重ねでなんとでもなることです。

自分の将来を考えるには、情報が不可欠です。教師は、大学のすべてを知っているわけではありません。みなさんがアクティブに動くことによって、思わぬ情報が得られるのです。しかし、自分の準備がない中でブースに座ると、一方的に説明を聞いて終わってしまいます。説明会当日に、はじめてパンフレットを見ると、説明に振り回されてしまいます。反対に、事前にパンフレットを見ておくと、相手の話に集中することができます。準備が出来ていれば、理解も深まりますし、わからないこともはっきりします。質問も出来るようになります。当日は、積極的にコミュニケーションをはかれるよう頑張りましょう。

Point3 自分の未来については、複数のシュミレーションをしよう。

さて、大学受験は、併願が可能です。国立大学については、前期が第1志望、中期や後期では押さえての第2希望の出願が一般的です。まして、前期での出願は、センター試験での得点率によって志望を変更する可能性もあります。私立大学については、挑戦校、実力相応校、滑り止め校などのように複数の進学パターンを検討します。

これと同じように、**自分の将来像も複数考える**ことは、今の時代を考えると大切なポイントになります。一つの進路希望を抱き、それを実現できる人も確かにいます。しかし、先行き不透明な時代と言われる今日、漠然とした一つの思いを実現できない人も、たくさんいるはず。 「想定外」ということばが、毎日のように聞かれるようになりました。自分の未来を複数イメージすることは、この「想定外」の対策となります。説明会では、70以上のブースが設営されているのですから、自分が取材する大学の幅を少し広げてみるのもいいでしょう。同じ学部の系列で複数の大学を取材するのもいいでしょう。学問は、意外な繋がりがりますので、関連する学部や学科を調べて、取材するのもいいでしょう。地域を広げるのも一つの手です。人生のシュミレーションを複数考えて下さい。

Point4 自分の力や態度を自分で鍛える絶好の機会

最近、大学のパンフレットを見ていると、「キャリア教育」という言葉が踊っています。「学生のキャリア支援」のように使われている例もあります。

「キャリア教育」とはなんでしょうか。これは、何も大学でだけ取り組まれているものではありません。高等学校でも取り組んでいるものです。生徒の皆さんは、取り組んでいることさえ気づいていないぐらい自然に行われている場合もあります。

さまざまな大学の説明でこの「キャリア」という言葉を見聞きすると思いますので、その意味を高校生にも分かるように、確認したいと思います。それと同時に、今回の「統一学校説明会」自体が下の「(1)～(3)を鍛える絶好の機会」になっていることを確認してください。つまり、「統一学校説明会」もキャリア教育の一環なのです。

将来の生き方を考えるための教育をキャリア教育と言います。でも、このキャリアということばの意味は、よくわかりません。カタカナ言葉は、かっこいいのですが、その意味は、不明瞭なことが多いのです。そこで、キャリアの持つ意味を3つ紹介します。

(1) 自分の将来を考える力をつける

これは、簡単です。5年後の自分や10年後の自分を考えることができるようになる学習のことです。しかし、実際に想像することは難しいと思います。

(2) 社会のことを知る

これは、講演会や体験的な学習で理解することが可能です。大学では、学業の傍らアルバイトをする学生が多いのですが、これは、社会を知る原体験と言えます。

(3) 技能や態度を育てる

将来、大学で学んだり、また社会で働くためには、基本的な技能や態度が求められます。例えば、人とコミュニケーションする力や、人に説明する力、質問する力、情報を集める力、人を自然と助ける態度、人と円滑な人間関係を築こうとする態度などがその例です。これらの力や態度は、職種を問わず、社会のさまざまな場面で求められることから、汎用的（はんようてき）な力と言われることがあります。これも「キャリア」の一部です。

大学が行う「キャリア教育」も基本的には上の(1)～(3)の3つを育てる教育であることは間違いありません。育てるための方法や力点の置き方には、大学ごとに差があります。（ここで求められている力や態度を全てを均等に身につけよと言っているわけではありま

せん。そうなったら、世の中がつまらないとも思いますし・・・。）

あまり肩ひじを張らず、高校生としてポイントを踏まえた行動を心がけていれば、十分(1)～(3)は鍛えられます。ではなぜ、わざわざこんな面倒臭い話をするのかというと、こういう意図や目的があることを知って欲しいからです。教員からの「空いているあのブースも行ってみれば」というアドバイスも、そういう意図・目的から発せられるものなのです。さらに、大学の「キャリア教育」についても、(1)に力点があるのかな、(3)はどうやって育てようとしているのかな、という視点で見ることが出来ますね。

もう一度確認です。統一学校説明会は、**(1)～(3)を鍛えるチャンスです**。自分がその大学に通ったときの具体的なイメージを持つためには、情報がなくてはイメージできません。いきなり専門教育が始まるのか、教養教育を極めるのか、カリキュラムを知る必要があります。ゼミは、どの学年から始まるのか？どんな研究をするゼミがあるのか？研究室のことも知る必要があります。上級生からの支援体制の有無も重要なポイントです。就職支援体制や諸活動の情報も学生にとっては、大切な要因です。さまざまな情報をもとに、**大学生生活を具体的にイメージ**してみましよう。

また、**大学では自分で調べたり、ディスカッションしたり、発表したりしながら、学びを深めていきます**。人と関わること、関わりから何かに気づくこと、探求活動をしながらか自分の能力を鍛えていくことがとても重要になります。これは、(3)の力につながりますが、これも、高校時代の経験が大きく影響します。統一学校説明会を通して、少しずつ将来のことを形作ると同時に、(3)の力も伸ばしてみませんか。

おまけ Point 将来の夢は、「考える過程」によって生まれる。高校時代に将来を考えた経験が、大学生生活の学びや諸活動に影響する。

将来の目標や夢は、ある日、突然悟るように、天から与えられるものではありません。人、本などさまざまなものとの接点から形成されていくものです。それは、自分のことを考えたり、調べるという過程から生まれると言っても過言ではありません。この過程が乏しい人は意識的に行わなければなりません。今回の説明会は、この過程を少しでも体験するいい機会になるはず。

ちなみに、自分の生き方を考えることは、学習と深く関係しています。大学生に調査したデータによると、将来の目標がある人は、授業の出席、予習や復習、研究や諸活動（部活・サークル・アルバイト）のすべてが意欲的です。反対に、大学入学時に目標のない学生は、卒業時でもやりたいことがわからないままです。高校時代に将来を考える習慣をつけておくことが、そのまま大学生生活につながっていくのです。

■予備校のブースでは、学習相談、進学相談を！

日常の学習や受験対策の学習については、是非予備校のブースを活用して下さい。各予備校には、それぞれの学習指導があります。個別指導に特化した予備校の学習指導、難関大学への指導経験をもととした学習指導、看護大学・看護学校の情報に特化した指導など、5つの事業所の特徴はそれぞれにあります。学習指導は、もちろんのこと、可能性を広げる大学選択の話も聞けることでしょう。積極的に活用して下さい。

★1・2年生への連絡

- ・統一学校説明会前日（8/25(木)）7時間目LHRの時間に、会場設営。
- ・統一学校説明会当日（8/26(金)）は終了後、会場復元作業がありますので、16:30 ごろの解散になります。保護者の方にも連絡をお願いします。